

# 静岡松涛タイムス 第56号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：滝田宏平

連絡先：0547-36-1238(TEL) 0547-36-1293(FAX)

E-mail：kouheichan@tiara.ocn.ne.jp

URL： <http://www.shizuoka-karate.com/> (公式HP)

<http://www4.tokai.or.jp/sougou/> (広報部)

Photo：流水

## 第12回 JKS 西部地区空手道選手権大会



11月27日(日)に第3回 JKS 西部地区空手道選手権大会が、菊川南陵高校体育館で開催されました。朝は館内がかなり厳しく冷え込みましたが、日中は日差しが入り、とても暖かくなり、コンディションも良好でした。西部地区大会は、支部数が少ないため規模は小さいのですが、今回も選手の熱気で盛大な大会になりました。最初の車椅子型は、会場全員の視線を一身に浴び競技されました。9月に行なわれたイギリスでの世界大会で、車椅子型優勝・準優勝の2名が出場する中に、今回私も出場させて頂き、4人で戦いました。目の前で試合の演武は感動しました。すばやいスピードとキメのある突き・受け・車椅子操車、どれをとっても1ヶ月で得られる物では無いと痛感しました。上半身だけの技は、2本足で立つより難しい。同じ技でも同じように出来ないの練習あるのみです。しかし、興味がある方は是非やってみていただきたいと思います。そして、これからも増えていくことを願います。この大会の特徴は、経験の浅い人から出場できるようになっており、初試合の人もいたと思います。予選



型は、会場全員の視線を一身に浴び競技されました。9月に行なわれたイギリスでの世界大会で、車椅子型優勝・準優勝の2名が出場する中に、今回私も出場させて頂き、4人で戦いました。目の前で試合の演武は感動しました。すばやいスピードとキメのある突き・受け・車椅子操車、どれをとっても1ヶ月で得られる物では無いと痛感しました。上半身だけの技は、2本足で立つより難しい。同じ技でも同じように出来ないの練習あるのみです。しかし、興味がある方は是非やってみていただきたいと思います。そして、これからも増えていくことを願います。この大会の特徴は、経験の浅い人から出場できるようになっており、初試合の人もいたと思います。予選

型は平安初段。どんな人でも、たった1つの優勝を目指し、練習してきた事でしょう。試合を見て一生懸命さが伝わってきました。これは大人も子供も同じ。そんな姿をやさしく見守り、または声を出して応援したりして、仲間を称えました。又、団体組手は学年区別なしの試合で、体格差がかなり目立ちお互いにやりにくそうでしたが、どんな相手だろうと自分が勝たなければならないという真剣な表情に、ご父兄も思わず力が入り「ガンバレー！」と応援しておりました。個人戦組手は、学年が上がるにつれ、そして一般まで迫熱しました。いつも勝てなかったのに今回は勝ち上がったたり、逆に敗れてしまったりと、それぞれに良い事、反省すべき事があった事と思います。大会に出ると「成長する」と思っても良いのではないのでしょうか。どんな小さな大会でも出場する姿勢が大切だと思います。今後ご父兄皆様には御協力をお願いしたいと思います。又、今回の大会が無事に開催終了したのもスタッフの皆さん、更には遠方よりお越しいただいた審判の先生方のおかげです。有難うございました！(レポート：浜松将陽館 菊地 富子)

## 第36回清水スポーツ少年団空手道大会



12月10日(土)例年より少し早く第36回清水スポーツ少年団空手道大会が清水長崎新田スポーツ交流センターで開催されました。今年は幼年と小学生だけの試合でしたが、総勢46名の選手が参加して型・組手試合共に例年に劣ることなく白熱した試合で大会を盛り上げてくれて良かったです。午後は車椅子の演武から始まり、今年初の試みの兄弟型・親子型の演武会が行われました。全国大会優勝チームから、この大会に間に合うように平安初段を覚えたばかりのチームまで、なんと15チームが演武をしました。全国大会後に空手を始めた、お父さん・お母さんを引っ張る子供達の頼もしさ、子供達の足を引っ張らないようにと一生懸命なお父さんお母さん。更には、弟妹を気遣う

で、なんと15チームが演武をしました。全国大会後に空手を始めた、お父さん・お母さんを引っ張る子供達の頼もしさ、子供達の足を引っ張らないようにと一生懸命なお父さんお母さん。更には、弟妹を気遣う

お兄ちゃんお姉ちゃん見ていて、実に微笑ましかったです。まさに今年のキーワード「絆」でした。会場の真ん中で堂々とした演武に、観客から盛大な拍手が送られていました。今日の演武をきっかけに来年の全国大会を目指す親子や、私達も空手を始めてみようとな乗りを上げてくれる、お父さんお母さんが出て来てくれたら嬉しい限りです。最後になりましたが、大会運営をサポートしていただいた先生方や、御父兄の皆様方ありがとうございました。今年も素晴らしい大会になりました。選手諸君は感謝の気持ちを忘れず、来年の大会で活躍できるよう、稽古に励んでください。(レポート：清水支部烈士館 上條 康光)

### 県本部主催昇段審査会合格者

少年部初段	渡辺 大輝(焼 津)	ガニコ大和(精誠館)	坂下 聖香(川 根)	鈴木千那都(川 根)
上中 真菜実(川根)	鈴木 翔大(青 島)	野村 桃子(西焼津)	小田 桂菜(瀬戸谷)	中野 幸基(高 洲)
曽根 明弥(青 島)	杉本 能(島 田)	坂本 嘉紀(精誠館)	赤堀 桂介(静岡南)	大石 竜輝(瀬戸谷)
松原 玄武(川 根)	石田 竜也(精誠館)	半沢慎之介(将陽館)	末村 知穂(浜将陽)	
一般部初段	熊本 浩志(島 田)	坂原 宣弘(島 田)	服部 徹(島 田)	熊本 絹代(島 田)
末村 千鶴(浜将陽)	小松 直幸(青 島)	浅川 喜人(精誠館)	加塩由紀子(精誠館)	平石 隆哉(西焼津)
少年部弐段	杉山 智彦(精誠館)	花村 兼汰(静岡北)	実施：平成 23 年 12 月 11 日(静岡北部体育館)	

### 平成 24 年川根支部初稽古・加持祈祷参拝



平成 24 年 1 月 3 日に川根支部初稽古が川根本町の本部道場にて行われました。当日は天気こそ恵まれましたが、寒さが大変厳しい 1 日となりましたが、幼年から大人まで、約 30 名の生徒が集まりました。まずは上中師範の新年の挨拶に始まり、地元の浅間神社にて本年の安全を願い、新年祈祷が行われました。川根各道場の少年部部長と一般部代

表、父兄代表が玉串奉奠を行いました。少年部の部長達は、厳粛な雰囲気の中で、慣れない手つきで玉串を扱っていましたが、その後、小学生以上の少年部と一般部は師範の先導で道の駅「茶名館」までランニングし、広場で基本稽古と平安初段をやりました。寒さと久々の稽古で、思うように体が動かない中、皆元気良く稽古していました。幼年部は自分が先導し、神社周辺をランニングしました。みんなへこたれることなく元気良く走っていました。その後、再びランニングで本部道場へ行き、みんなで餅つきを行いました。御父兄の皆様によって頂いた豚汁を全員で美味しく頂きました。道場生たちは本年一年の長丁場に向けて、よいスタートが切れたのではないかと考えています。最後に寒い中、ご協力頂いた御父兄の皆様へ感謝いたします。(レポート：川根支部 鈴木 雄一郎)

### 将陽館新春合同稽古初め



平成 24 年 1 月 8 日(日)に、将陽館本部道場にて、恒例の合同稽古初めを行いました。当日は、穏やかな陽気の中、焼津本部道場からディスカバリーパークまで子供達が一斉に走り出しました。ディスカバリーパーク側の海岸で、基本・型・組手の稽古が始まりました。

いつもの道場の床とは違い、砂に足をとられ、バランスを崩しながらの子供達でしたが、苦戦しながらも頑張ってお型を打っていました。正月明けのせいも、最初は声も出ていませんでしたが、館長の熱い指導の下、徐々に大きな気合いが入るようになっていきました。稽古後、海風の吹く海岸を再びランニングで道場に戻りました。道場では、館長の奥様がお手製の豚汁・お汁粉で道場生を迎えてくれました。先生方や子供達の父兄が見守る中、全員が今年一年の抱負を掲げました。「大会に出てたくさん優勝します」と心に決めた子や「級を上げるように毎日の稽古を頑張る」と言った子「基本を見直しながら自分の型を打ちたいです」と黒帯らしい言葉も出てきました。まだまだ寒い中での稽古となりますが、今日掲げた抱負を胸に館長・指導員の先生方のご指導の下、稽古に精進していきましょう。頑張ってお稽古をしていれば必ず結果として現れます。何より子供達には、楽しく空手を通して色々な事を学んで欲しいと思います。押忍！(レポート：将陽館本部 千葉侑杜・陽加の母 陽子)